

□主な内容

【第 6 回 EST 交通環境大賞への応募を受付中！】[応募締切:9 月 30 日(火)]

今年度も EST 交通環境大賞への応募を受け付けています。全国各地で交通環境対策に取り組みられている自治体、企業、市民団体等の皆様が応募されることを期待しています。

<http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2014.html>

【第 4 回地域の交通環境対策推進者養成研修会の参加者募集中！】[参加申込締切: 8 月 29 日(金)]

平成 26 年 10 月 8 日(水)～10 日(金)の 3 日間、富山市を研修地域として実施します。皆様のご参加をお待ちします。[土木学会認定 CPD プログラム(19.5 単位)、都市計画 CPD プログラム(19.5 単位)]

<http://www.estfukyu.jp/training2014.html>

【平成 26 年度に開催するセミナーの参加者募集中！】

以下のセミナーの参加者を募集しています。皆様のご参加をお待ちします。

9/22 四国 EST 創発セミナー(高松)

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu31.html>

9/2 第 4 回地域バス交通活性化セミナー(一関)

http://www.ecomo.or.jp/environment/bus/4th_seminar.html

□目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 97 回)

●『『阪高 SAFETY ナビ』による交通安全対策の取り組み』

【阪神高速道路株式会社保全交通部 児玉 崇】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 97 回)

●「高松市の公共交通利用促進に向けた取組について」

【高松市市民政策局コンパクト・エコシティ推進部交通政策課課長 板東 和彦】

3. ニュース／トピック

●第 6 回 EST 交通環境大賞への応募を募集中【EST 普及推進委員会】

●「電気自動車による地域交通グリーン化事業」の公募について【国土交通省】

●「超小型モビリティの導入促進」事業の公募について【国土交通省】

●「クールシェア」について【国土交通省、環境省】

- 「全日本エコドライブチャンピオンシップ 2014」の開催について【環境省】
- 「CO2 削減／ライトダウンキャンペーン」実施結果について【環境省】
- 「みんなでチャレンジ！エコ通勤キャンペーン！」の実施について【群馬県】
- 「あいち EV・PHV 普及ネットワーク EV・PHV 試乗会」への参加事業者の募集について【愛知県】
- 「スマフォトロゲイニング in 広島 2014」の開催について【広島県】
- 中国横断 EV エコドライブ・グランプリの参加者募集を開始します！【岡山県、鳥取県】
- コミュニティサイクルの本格導入に向けた実証実験について【千代田区】
- 「バスの日まつり」について【盛岡市】
- EV ステーションかしわの稼働開始【柏市】
- 「超小型モビリティ」モニター貸出の実施について【さいたま市】
- 「ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー2014」開催について【一般社団法人カーフリーデージャパン】
- 電気自動車通勤奨励プロジェクト(ワークスペースチャージング)推進を開始【日産自動車株式会社】
- 国内初、ワンウェイ(乗り捨て)方式のカーシェアリングの開始について【メルセデス・ベンツ日本株式会社、オリックス自動車株式会社、アマノ株式会社】
- 政府間気候プロセスの情報を加えた新トップページを公開【国連気候変動枠組条約事務局】
- クリーンで競争力あるエネルギーの拡大には都市・自治体の取組が有効とする報告書を発表【イギリス公共政策研究所】

4. イベント情報

- 第 4 回地域の交通環境対策推進者養成研修会(富山市)【2014/10/8-10】
- 四国 EST 創発セミナー「多核連携型コンパクト・エコシティの実現を目指して」【2014/9/22】
- 第 4 回地域バス交通活性化セミナー『「バスの力」で地域を元気にできるのか?』【2014/9/2】
- 第 6 回土木と学校教育フォーラム【2014/8/31】
- 第 22 回地球環境シンポジウム【2014/9/3-5】
- 交通・観光カーボンオフセット支援システム説明会(東京)【2014/10/1】
- バスフェスタ 2014 in Tokyo【2014/10/4】
- 第 12 回 ITS シンポジウム 2014【2014/12/4-5】
- エコプロダクツ 2014(第 16 回)【2014/12/11-13】

5. その他

- EST パートナーシップ会員制度に参加する団体を募集しています！
- 交通環境学習を実践する小中学校を募集しています！（9/30 まで）
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！

- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
- 記事募集中！

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 97 回)

●「『阪高 SAFETY ナビ』による交通安全対策の取組み」

【阪神高速道路株式会社保全交通部 児玉 崇】

阪神高速道路では、年間 5,500 件の交通事故が発生しています。交通事故は利用者の安全だけでなく、事故渋滞による社会的損失や環境負荷にも大きく影響してくるから、事故削減は地域全体の課題です。

阪神高速道路での交通事故を分析するなかで、事故当事者のうち約 7 割が阪神高速をあまり利用されていない不慣れな利用者であること、ドライバー属性の違いで事故を起こす傾向が異なることなどがわかってきました。

そこで、これまでの事故多発地点に着目した施設面への対策に加えて、ドライバー一人ひとりの運転特性にあった交通安全情報を提供する Web プログラム「阪高 SAFETY ナビ」(* 1)を使った取組みを開始しました。

「阪高 SAFETY ナビ」では、利用者の運転特性を診断して「個別で」「具体的な」交通安全情報を「コミュニケーション手法」により合理的に訴求して、安全運転動機の活性化や実行意図の醸成が図られることを期待しており、運転適正診断である「SAFETY ドライブ・カウンセリング」や、走行映像を使った危険予知トレーニングである「SAFETY ドライブ・トレーニング」、阪神高速道路での安全運転が計画できる「SAFETY ドライブ・プランニング」などのコンテンツで、阪神高速道路の膨大な事故データから作成した情報やアドバイスを提供しています。

平成 23 年 2 月の本格運用後の 3 年間で約 2 万人の方に取り組んでいただいております。過去の取組み状況から、事故経験者と未経験者ではその診断結果に明らかに差があり、かつ複数回回答者の診断結果は初回の結果より 1.14 倍向上していること、また、平成 26 年 2 月に実施した利用者アンケート(対象 450 人)では、「阪高 SAFETY ナビ」に取り組んだ方のうち 5 割以上が「自分の注意するポイントが分かった」「自分の安全運転能力が把握できた」「交通安全意識が高まった」と答えていることなどから、事故削減につながる学習効果と行動変容効果も確認されたと考えています。

今後も引き続き、事故削減を目指して多くのドライバーの方に「阪高 SAFETY ナビ」に取り組んでいただけるよう、取組みやすいプログラムへの改善や、企業研修に最適化した団体版「阪高 SAFETY ナビ」(* 2)やスマートフォン版(* 3)などの訴求体制の充実を図っていきます。

機会があれば、是非「阪高 SAFETY ナビ」にお取り組みください。

(* 1) 阪高 SAFETY ナビ(PC 版) <http://safetynavi.jp/>

(* 2) 団体・企業向けホームページ <http://safetynavi.jp/corptraining/>

(* 3) 阪高 SAFETY ナビ(スマホ版) <http://safetynavi.jp/sp/>

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 97 回)

●「高松市の公共交通利用促進に向けた取組」について

【高松市市民政策局コンパクト・エコシティ推進部交通政策課課長 板東 和彦】

高松市では、公共交通を基軸とした都市交通の形成に向け、「総合都市交通計画推進協議会」を設置し、平成 22 年度に策定した「総合都市交通計画」に掲げる各種施策・事業の推進に取り組んでいるところです。

今年 7 月には、本協議会が同計画の適切な進行管理を行い、昨年 9 月に公布・施行した「高松市公共交通利用促進条例」の制定に貢献したこと、また、施策の具現化に取り組んでいることなどが評価され、地域公共交通優良団体として国土交通大臣から表彰されました。

(1) 高松市公共交通利用促進条例の制定(平成 25 年 9 月)

本条例では、制定の背景、利用促進の対象としている公共交通機関を定義するとともに、基本理念や基本方針等を位置付け、市・市民・事業者・公共交通事業者が協働して公共交通の利用を促進し、安全かつ快適で人と環境にやさしい都市交通の形成に寄与することを明記しています。

(2) IC カードの活用による乗り継ぎ割引の拡大

この条例の理念を踏まえた施策の第一歩として、本年 3 月 1 日から、ことでの IC カードを利用して、電車とバスを乗り継いだ場合の、乗り継ぎ後の運賃に対する 20 円の割引を 100 円に拡大する制度を開始しています。

これにより、バスで直接、郊外部から中心市街地に向かうよりも、最寄りの鉄道駅で乗り換えた方が安い運賃となるほか、中心市街地においては、鉄道からの乗り継ぎにより、バスの初乗りが 50 円以内で利用可能となります。

この取組は、地域の IC カードを活用して、行政と交通事業者が一体となり、公共交通の利便性に取り組む全国的にも珍しい取組で、7 月末までの 5 か月間の利用は、昨年同時期との比較で、約 30%近い伸びとなっています。

(3) 高齢者に対する公共交通の利用支援

また、本年秋頃から、同システムを活用し、70 歳以上の市民を対象として、電車やバスの運賃を半額にするほか、併せて路線バスが廃止された公共交通空白地帯において運行しているコミュニティバスなどに、新たに同システムを導入することとしています。

これにより、市内の全ての電車とバス(JR を除く)において、共通の IC カードでの利用が可能となり、全市域における公共交通の利便性の向上につなげていくこととしています。

(詳しくはこちら)<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/13513.html>

3. ニュース／トピック

●第6回 EST 交通環境大賞への応募を募集中【EST 普及推進委員会】

EST 普及推進委員会及びエコモ財団では、地域の交通環境対策に関する取組み事例を発掘し、優れた取組みの功績や努力を表彰する EST 交通環境大賞を募集しています。以下のウェブページをご覧ください、全国各地で交通環境対策に取り組まれている自治体、企業、市民団体等の皆様が応募されることを期待しています。〔応募締切：9月30日(火)〕

<http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2014.html>

●「電気自動車による地域交通グリーン化事業」の公募について【国土交通省】

国土交通省では、環境性能に特に優れた電気自動車の普及を図るため、他の地域や事業者による電気自動車の集中的導入を誘発・促進するような地域・事業者間連携等による先駆的な取り組みを行う自動車運送事業者等に対して、バス、タクシー及びトラックの電気自動車の導入を重点的に支援するため、「電気自動車による地域交通グリーン化事業」を実施することとし、本事業の公募を開始しました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha10_hh_000131.html

●「超小型モビリティの導入促進」事業の公募について【国土交通省】

国土交通省では、超小型モビリティの普及や関連制度の検討に向け、成功事例の創出、国民理解の醸成を促す観点から、地方公共団体等の主導によるまちづくり等と一体となった先導導入や試行導入の優れた取組みを重点的に支援する「超小型モビリティの導入促進」事業を実施することとし、本事業の公募を開始しました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha10_hh_000132.html

●「クールシェア」について【国土交通省、環境省】

国土交通省と環境省では、エコな鉄道をもっとエコにする「エコレールラインプロジェクト」と、鉄道を利用して訪れる観光地での「クールシェア」を同時に呼び掛けるポスターを作成し、駅貼りポスター及び中吊り広告の掲出を行います。

http://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo04_hh_000049.html

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18455>

●「全日本エコドライブチャンピオンシップ 2014」の開催について【環境省】

環境省は、全日本学生自動車連盟が8月25日(月)に鈴鹿サーキットにて開催する「全日本エコドライブチャンピオンシップ 2014」に特別協力し、エコドライブの普及による地球温暖化防止の推進を呼びかけます。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18566>

●「CO2削減／ライトダウンキャンペーン」実施結果について【環境省】

環境省では、2003年から地球温暖化防止のため、ライトアップ施設や家庭の照明を消していただくよう呼び掛ける「CO2削減／ライトダウンキャンペーン」を実施しています。12年目となる今年の実施結果を公表しました。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18517>

●「みんなでチャレンジ！エコ通勤キャンペーン！」の実施について【群馬県】

群馬県では、マイカー通勤から公共交通や自転車などの環境にやさしい通勤方法への転換の推進と、公共交通の利用促進等を図るため、9月1日(月)～30日(火)の間、エコ通勤キャンペーンを実施します。

<http://www.pref.gunma.jp/04/h2110201.html>

●「あいち EV・PHV 普及ネットワーク EV・PHV 試乗会」への参加事業者の募集について【愛知県】

愛知県を始めとした自治体や民間企業等96団体で構成されるあいちEV・PHV普及ネットワークでは、電気自動車(EV)及びプラグインハイブリッド自動車(PHV)の業務における利用が想定される貨物運送事業者、タクシー事業者などの事業者を対象として、EV・PHVへの試乗や車両説明等を行います。

<http://www.pref.aichi.jp/0000075264.html>

●「スマフォトロゲイニング in 広島 2014」の開催について【広島県】

「広島県公共交通移動活発化検討会」では、スマートフォン等の携帯端末用「乗換検索」アプリ等を利用し、公共交通を乗り継ぎながら、広島市域及び周辺市町のポイントを探し、得点を競うゲーム「ロゲイニング」(設置されたポイントを制限時間内に数多く回り、得点を競うゲーム)を開催します。

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/246/photorogaining-hiroshima.html>

●中国横断EVエコドライブ・グランプリの参加者募集を開始します！【岡山県、鳥取県】

岡山県、鳥取県では、両県において設置が進んでいる電気自動車充電器を活用しながら、両県エリアを電気自動車で移動する「中国横断EVエコドライブ・グランプリ」を開催します。EVの環境に優しい特性や優れた走行性能と「電欠なく安心してドライブできる両県のE

「V走行環境」をアピールし、電気自動車の一層の普及促進を図るとともに、両県の優れた自然環境や観光資源を紹介し、観光振興を図ります。

<http://www.pref.okayama.jp/page/394716.html>

<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=239542>

●コミュニティサイクルの本格導入に向けた実証実験について【千代田区】

千代田区では、二酸化炭素排出量の削減や環境意識の向上をはじめ、地域・観光の活性化、放置自転車対策および健康増進など幅広い効果が期待できるコミュニティサイクルの本格導入に向け、サイクルポート(自転車の貸出・返却拠点)の適切な配置や交通行動の変化、事業の効果・採算性などを検証するため、10月から実証実験を開始します。

<http://sejijama.jp/article/news/nws20140820-001.html>

●「バスの日まつり」について【盛岡市】

盛岡市では、9月20日(土)のバスの日にちなみ、バスが市民の足として愛され親しまれるよう、「バスの日まつり」を開催します。面白いバスの展示や、主に子どもを対象としたバスの乗り方教室等を実施します。

<http://www.city.morioka.iwate.jp/event/event/030351.html>

●EVステーションかしわの稼働開始【柏市】

柏市では「柏市低公害車普及促進計画」を定め、ハイブリッド車、電気自動車などの低公害車の普及促進を図っています。今回、国の「次世代自動車充電インフラ整備促進事業」に伴う補助制度を活用し、「千葉県次世代自動車充電インフラ整備ビジョン」に基づき、公民協働により電気自動車の充電設備を本庁舎敷地内に設置しました。

<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/080500/p019661.html>

●「超小型モビリティ」モニター貸出の実施について【さいたま市】

さいたま市では、地域の手軽な移動手段として、国土交通省が進める「超小型モビリティ導入促進事業」について、本田技研工業様及び本田技術研究所様との3者で構成する「さいたま市低炭素型モビリティ利活用推進協議会」より計画申請を行い、昨年6月に計画認定を受け、このたび、市民及び市内企業へのモニター貸出を開始することを発表しました。

http://www.city.saitama.jp/006/003/003/010/006/p037383_d/fil/0801gidai2.pdf

●「ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー2014」開催について【一般社団法人カーフリーデージャパン】

一般社団法人カーフリーデー・ジャパンでは、毎年 9/16 から 9/22 に世界的に行われている「ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー」について、今年は全国 11 都市が参加を表明していることを公表しています。

<http://blog.goo.ne.jp/cfdjapan/e/d55b9a1049f6fb40ff0dc39c0489969b>

●電気自動車通勤奨励プロジェクト(ワークスペースチャージング)推進を開始【日産自動車株式会社】

日産自動車株式会社では、ゼロ・エミッション社会の実現に向け、EV の普及促進への取組みに賛同する企業と協力し、賛同企業の各事業所内に EV 用充電器を設置し、従業員が通勤用として広く「日産リーフ」を活用できる環境づくりを支援する取組みを開始しました。

http://www.nissan-global.com/JP/NEWS/2014/_STORY/140806-02-j.html

●国内初、ワンウェイ(乗り捨て)方式のカーシェアリングの開始について【メルセデス・ベンツ日本株式会社、オリックス自動車株式会社、アマノ株式会社】

メルセデス・ベンツ日本株式会社、オリックス自動車株式会社、アマノ株式会社では、9 月 1 日より、神奈川県横浜市内 8 拠点で、ワンウェイ(乗り捨て)方式のカーシェアリングサービス「スマート ワンウェイ カーシェアリング」(愛称「smaco」)を開始します。

http://www.orix.co.jp/grp/news/2014/140724_ORIXJ.html

●政府間気候プロセスの情報を加えた新トップページを公開【国連気候変動枠組条約事務局】

国連気候変動枠組条約(UNFCCC)事務局は、気候変動に対処する世界の取組(政府・市民・企業・都市等)の現状報告や政府間プロセスに関する情報を加えた、新たなトップページ「Newsroom」を公開しました。Newsroom は、2015 年の新たな国際枠組の合意を形成するため、国際会合で起きた重要事項を説明し、また、気候変動に対する取組が世界でどのように高まっているかを明らかにすることを目的としています。

http://unfccc.int/files/press/press_releases_advisories/application/pdf/ma20143107_newsroom.pdf

●クリーンで競争力あるエネルギーの拡大には都市・自治体の取組が有効とする報告書を発表【イギリス公共政策研究所】

イギリス公共政策研究所(IPPR)は、都市や自治体が積極的にエネルギー市場に参入することで、クリーンで効率の良いエネルギーシステムを構築し、地域経済を活性化することができるという報告書を発表しました。

<http://www.ippr.org/news-and-media/press-releases/cities-and-local-authorities-can-plug-britain%E2%80%99s-energy-investment-gap>

4. イベント情報

- 第 4 回地域の交通環境対策推進者養成研修会(富山市)
日時:2014 年 10 月 8 日(水)~10 日(金)
場所:ポルファートとやま 翡翠の間ほか
主催:EST 普及推進委員会、エコモ財団、北陸信越運輸局
<http://www.estfukyu.jp/training2014.html>

- 四国 EST 創発セミナー「多核連携型コンパクト・エコシティの実現を目指して」
日時:2014 年 9 月 22 日(月)13:30~16:45
場所:サンポートホール高松 6 階 61 会議室
主催:四国運輸局、EST 普及推進委員会、エコモ財団
<http://www.estfukyu.jp/sohatsu31.html>

- 第 4 回地域バス交通活性化セミナー「『バスの力』で地域を元気にできるのか？」
日時:2014 年 9 月 2 日(火)13:30~16:45
場所:ホテルサンルート一関 2 階「芙蓉」
主催:エコモ財団、国土交通省東北運輸局
http://www.ecomo.or.jp/environment/bus/4th_seminar.html

- 第 6 回土木と学校教育フォーラム
日時:2014 年 8 月 31 日(日)9:00~17:00
場所:土木学会(講堂、A,B,C 会議室)
主催:土木学会
<http://trans.kuciv.kyoto-u.ac.jp/cvilandeducation/forum6.html>

- 第 22 回地球環境シンポジウム
日時:2014 年 9 月 3 日(水)~5 日(金)
場所:中央大学駿河台記念館(東京都千代田区)
主催:土木学会
<http://committees.jsce.or.jp/global/sympoC>

- 交通・観光カーボンオフセット支援システム説明会(東京)
日時:2014 年 10 月 1 日(水)14:30~16:30
場所:アルカディア市ヶ谷 6 階「伊吹(東)」
主催:公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/data/setumeikai_14.10.1.pdf

●バスフェスタ 2014 in Tokyo

日時:2014年10月4日(土)

場所:都立代々木公園・ケヤキ並木

主催:公益社団法人日本バス協会

http://www.bus.or.jp/event/pdf/press_20140619.pdf

●第12回 ITS シンポジウム 2014

日時:2014年12月4日(木)、5日(金)

場所:東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

主催:特定非営利活動法人 ITS Japan

http://www.its-jp.org/event/its_symposium/its_symposium12/

●エコプロダクツ 2014(第16回)

日時:2014年12月11日(木)~13日(土)

場所:東京ビッグサイト 東ホール

主催:一般社団法人 産業環境管理協会、日本経済新聞社

<http://eco-pro.com/eco2013/contact/2014.html>

5. その他

●EST パートナシップ会員制度に参加する団体を募集しています！

2013年7月16日から募集を開始し、38団体が参加しています。

会員サイトトップページで、交通と環境に関するニュースをリアルタイムで掲載しています。

http://www.estfukyu.jp/partnership_gaiyo.html

●交通環境学習を实践する小中学校を募集しています！（9/30まで）

http://www.mm-education.jp/gakkou_sien.html

●EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！

<https://twitter.com/officeEST>

●交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

配信申込はこちらから

<http://www.mm-education.jp:80/magazine.html>

●「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

<http://www.green-m.jp/>

●エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

<http://www.ecomo.or.jp/environment/eco-commuter/index.html>

●交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！

http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_system.html

●記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。

→ E-mail: magazine@ecomor.jp (担当: 熊井)

=====

発行: 環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo

EST ポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>